



序 文

阿波学会会長 石 田 啓 祐

三好市におかれましては、黒川市政2期目にあたり、ラフティング世界選手権2017の大成功、2018年には「大歩危小歩危」天然記念物及び名勝の国指定、ならびに「にし阿波地域」世界農業遺産認定をはじめ、アウトドアスポーツ・文化観光交流を通じて「生まれて、住んで、訪れて良し、三好市」を、いよいよ世界に向けて発信されますことを、心よりお慶び申し上げます。

阿波学会は、徳島県内の学術調査を中心に「自然環境の把握」「歴史文化の紹介」「みなさまの健康調査」を通じて、県内の各地域を支援するボランティア活動に取り組んでいる学術団体です。

三好市の総合学術調査は、昭和30年祖谷川流域、昭和47年祖谷・松尾川流域、昭和53年山城町、昭和55年池田町、平成15年三野町、平成19年三好市「旧東祖谷山村」で実施され、平成の大合併以降、10年ぶり2度目とはいえ、市内全域を対象には、今回が初めての調査となり、2017-2018年度の2年をかけて、13調査班、総勢約100名の会員の参加により実施する事ができました。調査を受け入れてくださいました三好市の皆様、ならびに、ご準備くださいました三好市教育委員会関係各位に、厚くお礼申し上げます。

調査を担当された各学会員の皆様、ならびに、特別寄稿くださいました専門分野の各位には、おかげをもちまして、阿波学会紀要第62号「三好市総合学術調査報告」を、徳島県立図書館より刊行の運びとなりましたことを、感謝申し上げます。

近年は地の利を生かしたジオパーク計画につきましても推進されることと伺っております。市内には、名峰と峡谷を配する「剣山」国定公園が位置し、吉野川本流には大歩危・小歩危、祖谷川には滞在型の祖谷・松尾川温泉を配し、地理的・地形的な特色に恵まれ、傾斜地農耕システムの営み、源平の時代からの歴史に彩られております。

この度の総合学術調査報告が、御市の更なる学術文化の発展と情報発信に向けて活用されます事を、会員一同、期待致しております。最後になりましたが、三好市と皆様の益々のご健勝と、ご発展を祈念申し上げます。